

(別紙)

団体名
(病院名)山形県朝日町
(朝日町立病院)

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	615.5	599.6	580.4	600.5	600.6	604.6
	(1) 料 金 収 入	576.2	553.5	536.9	555.9	556.0	560.0
	(2) そ の 他	39.3	46.1	43.5	44.6	44.6	44.6
	うち他会計負担金	22.7	26.9	26.9	27.9	27.9	27.9
	2. 医 業 外 収 益	153.0	151.6	153.2	147.7	157.2	157.2
	(1) 他会計負担金・補助金	149.7	147.5	150.6	145.1	154.6	154.6
	(2) 国 (県) 補 助 金	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	(3) そ の 他	2.5	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4
	経 常 収 益 (A)	768.5	751.2	733.6	748.2	757.8	761.8
	支 出	1. 医 業 費 用 b	726.2	722.6	730.2	737.7	740.4
(1) 職 員 給 与 費 c		480.1	479.8	464.8	460.0	460.0	460.0
(2) 材 料 費		101.4	95.4	100.1	107.6	107.0	107.0
(3) 経 費		77.8	83.6	105.2	108.5	110.0	110.0
(4) 減 価 償 却 費		63.9	62.1	58.4	57.9	61.4	60.2
(5) そ の 他		3.0	1.7	1.7	3.7	2.0	2.0
2. 医 業 外 費 用		37.9	35.7	22.4	20.3	18.8	17.8
(1) 支 払 利 息		28.9	27.0	20.2	17.8	16.3	15.3
(2) そ の 他		9.0	8.7	2.2	2.5	2.5	2.5
経 常 費 用 (B)		764.1	758.3	752.6	758.0	759.2	757.0
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	4.4	△ 7.1	△ 19.0	△ 9.8	△ 1.4	4.8	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)						
	2. 特 別 損 失 (E)						
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)						
純 損 益 (C)+(F)	4.4	△ 7.1	△ 19.0	△ 9.8	△ 1.4	4.8	
累 積 欠 損 金 (G)	△ 519.3	△ 526.4	△ 545.4	△ 555.2	△ 556.6	△ 551.8	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	270.0	289.5	277.7	270.0	270.0	270.0
	流 動 負 債 (イ)	33.7	37.8	32.0	32.0	32.0	32.0
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引 不 良 債 務 (オ)	△ 236.3	△ 251.7	△ 245.7	△ 238.0	△ 238.0	△ 238.0	
単 年 度 資 金 不 足 額 ※	△ 27.2	△ 15.4	6.0	7.7	0.0	0.0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.6	99.1	97.5	98.7	99.8	100.6	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.8	83.0	79.5	81.4	81.1	81.8	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	78.0	80.0	80.1	76.6	76.6	76.1	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率							
病 床 利 用 率	63.3	61.7	62.0	64.0	68.0	70.0	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	山形県朝日町 (朝日町立病院)
--------------	--------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	
収 入	1. 企業債	20.9	64.3	55.7	14.3	2.8	1.5	
	2. 他会計出資金	45.4	39.4	42.1	54.0	43.0	42.3	
	3. 他会計負担金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4. 他会計借入金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5. 他会計補助金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6. 国(県)補助金	0.0	2.0	0.0	6.8	1.9	0.8	
	7. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	収入計 (a)	66.3	105.7	97.8	75.1	47.7	44.6	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	66.3	105.7	97.8	75.1	47.7	44.6	
	支 出	1. 建設改良費	37.3	6.8	6.3	36.9	9.9	7.4
		2. 企業債償還金	73.5	139.0	137.9	85.0	84.4	87.9
		3. 他会計長期借入金返還金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
支出計 (B)		110.8	145.8	144.2	121.9	94.3	95.3	
差引不足額 (B)-(A) (C)		44.5	40.1	46.4	46.8	46.6	50.7	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	44.5	40.1	46.4	46.8	46.6	50.7	
	2. 利益剰余金処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3. 繰越工事資金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	計 (D)	44.5	40.1	46.4	46.8	46.6	50.7	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実質財源不足額 (E)-(F)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(5,837) 172,378	(2,316) 174,442	(8,100) 177,500	(3,300) 173,000	(3,300) 182,500	(3,300) 182,500
資本的収支	() 45,355	() 39,415	() 42,100	() 54,000	() 43,000	() 42,300
合計	(5,837) 217,733	(2,316) 213,857	(8,100) 219,600	(3,300) 227,000	(3,300) 225,500	(3,300) 224,800

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。